

そよ風が僕にくれた「可愛い」の恋を

いつまでも いつまでも

離したくない いつまでも

花のような君の口もと やさしくほほえんで

僕を見つめてくれた 忘れられない

いつまでも

夏の日の虹のように 澄んだ君の瞳

いつまでも いつまでも

想いつづける いつまでも

湖に君と遊んだ 一人だけの想い出

君も好きだと言つた 忘れられないあの言葉

いつまでも いつまでも

ザ・サベージ

木枯しが僕のかわいい あの娘をつれていった

いつまでも いつまでも

後姿を いつまでも

冷めたい君のほほに やさしく口づけした

あふれる僕の涙 つかる」となく いつまでも